

勉誠社

訓点語学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品20%OFF

割引クーポンコード: fbe1a1b787

(使用期限: ~2023年12月31日)

謹啓

日頃より弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。

当リストの新刊書籍をはじめ、勉誠社・勉誠出版タイトル全品が対象となります。

この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- 弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード・paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。

ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: fbe1a1b787 (使用期限: ~2023年12月31日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- メール添付、FAX、電話でもお受けしております。

ご氏名・ご住所・電話番号・公費／私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。

- 3000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス

(※ 3000円未満の場合は送料一律300円。なお日本国外への配送に関しては、実費を頂戴します)

*ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
訓点語学会の会員であることをお知らせください。

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp

電話 03-5215-9021

FAX 03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



国宝「三十帖冊子」

さんじゅうじゅつしやく

修理から見えてきたもの

最新の仏教学を学ぶために唐に渡った弘法大師空海が、当地の仏教經典・儀軌を書写し、日本に隨身秘藏しておいた冊子本、国宝「三十帖冊子」。第六世守覺法親王の時代より京都・仁和寺にて尊ばれ、伝持されられた同書は、空海の入唐中の学問のありかたを伝える密教将来の至宝として、また、空海や橘逸勢ほか、多くの唐の写經生がその書写に関わり、かつ冊子のかたちとして最も古い装訂とされる粘葉装(へんようそう)の日本最古の例といふ文化財としても特筆すべき意義を有している。

国宝「三十帖冊子」は、どのように守られ、伝えられてきたのか。六か年の歳月をかけて行われた修理により見えてきた新知見を多くのカラー図版とともに紹介。さらには、三十帖冊子の伝来と流転、經典説誦の実態、空海の学問と書、非破壊料紙分析の新知見、文化財修理のこれまでとこれから等、多角的な観点から「三十帖冊子」を把握する決定版。

掲載図版点数三〇〇点超!

第一部 修理・書誌篇

刊行にあたって 総本山仁和寺門跡真言宗御室派管長・瀬川大秀
序言 本書の概要 宇都宮啓吾

第一部 典籍篇

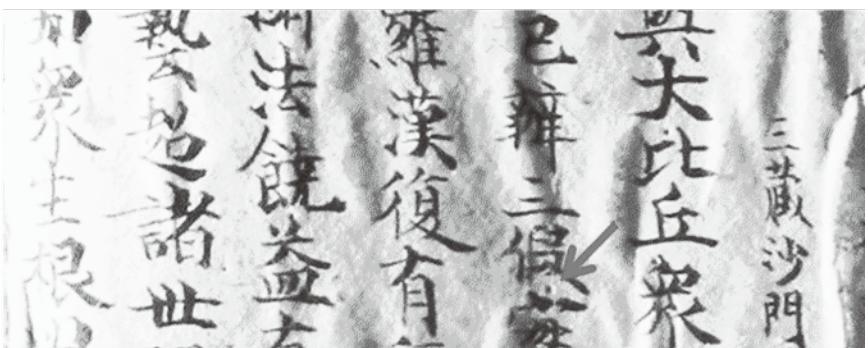
「三十帖冊子」の借覧と返納をめぐって 武内孝善
「三十帖冊子」の仁和寺移動と仁和寺伝持の歴史 朝川美幸

空海将来経論の書写をめぐつて 「三十帖冊子」に関連して 苦米地誠一

仁和寺蔵「三十帖冊子」の訓点から 観た漢籍訓読の一問題 宇都宮啓吾

典籍保存修理の歩み 昭和から令和へ 鈴木裕
—保存修理の視点から 鈴木裕

三十帖冊子の保存修理の視点から 鈴木裕



定価 11,100円(税込・予価)
本体 11,000円(+税)
二〇二三年一月刊行
A5判上製カバー装・三十六頁
ISBN978-4-585-31012-9 C3015

宇都宮啓吾

(うつのみや・けいご) 1966年生まれ。大阪大学文学部教授。専門は日本語学、仏教典籍学。著書に『中世国語資料集』(龍谷大学善本叢書33)(共著、思文閣出版、二〇一七年)『西教寺所蔵 円測撰 無量義經疏』(分担執筆、東国大学校仏教学術院、二〇一八年)『四天王寺聖教の世界』(四天王寺宝物館令和三年秋季特別展図録)(監修・執筆、四天王寺勸学部、二〇二一年)などがある。

書名

国宝「三十帖冊子」
修理から見えてきたもの

宇都宮啓吾[編]

定価 13,200円(予価)

A5判上製カバー装・336頁

2023年11月刊行

ISBN978-4-585-31012-9 C3015

ご送付先ご住所(通信欄)

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-184 株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 FAX03-5215-9025 <http://bensei.jp/>

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫

（編）

改訂新版 図説書誌学

定価三、八五〇円(税込)

本体三、五〇〇円(十税)

二〇一三年一月刊行

A4判並製カバー装・総カラー・一二一四頁

ISBN978-4-585-30010-6 C1500

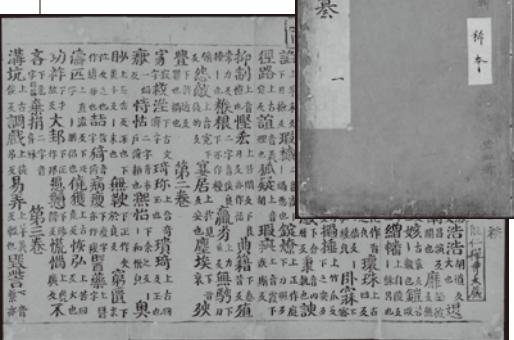
※本書は『図説書誌学』(二〇一〇年初版発行)
の改訂新版です。改訂新版刊行に際し、誤字・脱
字等の訂正を施しました。

古典籍を 学ぶ 書誌学

「書物」という
文化遺産の
継承のために



本
書
の
特
徴



有史以来蓄積されてきた「書物」は、
人間の英知・思想・思考・情感といった精神活動が、
最も明瞭に集約表出されたかたちで伝承されてきた、
学術文芸の遺産である。
この「書物」は、なぜここにこのように存在するのか――
「書物」との真摯な対話により、
過去から現在、そして未来へと連なる
人間の知的営みの一端に
自らリンクすることが出来るのである。

I 書物との対話 書誌学研究の視点

はじめに／書誌学とは

第二章 本の姿
表紙の役割／紙墨の表情／書物の形／変化する書物

第三章 本の誕生
誕生以前／自筆本／転写本／影写本／臨写本

第四章 本の流通
漢籍と和書／漢字と仮名／文字と絵／コトバとモノ

第五章 版本の時代
宋元版／明清版／朝鮮版・越南版／五山版・古活字版／和刻本

第六章 本の再生
原本・書入れ・批評／校合／入門書・工具書

第七章 書誌学の発達
目録学の発達／版本学の発達／考証学・近代

II 斯道文庫の五十年 これまでとこれから

・ 斯道文庫の五十年

・ 書物の収集と保全

椎本文庫／浜野文庫／安井文庫／坦堂文庫／コレディエ文庫／龜井家文庫／明治仏教史編纂所蔵書／センキユリ／文化財団寄託資料／大曾根文庫／河村文庫／平岡文庫／松林桂月文庫／林泰輔自筆稿本類／ガスパルドヌ文庫／永島文庫／戸原文庫

・ 斯道文庫年表

・ 斯道文庫蒐書の歴史

・ 出張調査年表

・ 研究事業・研究成果・公開事業

・ 総筆者一覧／書誌学用語索引

書名	冊数
改訂新版 図説書誌学 古典籍を学ぶ	3,850円(税込)・本体3,500円 A4判並製カバー装・224頁 2023年11月刊行 ISBN978-4-585-30010-6 C1500

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。

東京都千代田区神田三崎町2-184 株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 FAX03-5215-9025 <http://bensei.jp/>

大谷哲夫

〔著〕

詳細パンフレット
ございます!

定価
七一、五〇〇円(税込)

B5判・上製・総三〇〇〇頁超
全八巻揃い(分売不可)

ISBN978-4-585-31017-4 C3015

永平廣錄大全

『祖山本 永平廣錄』訓読・訳註・補注参究
ならびに解題・関連資料集成

株式会社勉誠社

日本人の読書 古代・中世の学問を探る

佐藤道生

〔著〕

人びとは何を読み、どのように学んできたのか――

古代・中世の日本において、書物を読み、解釈し、

伝えていくことは、限られた人びとにのみ許される

特権的な営みであった。

特に中国大陸ないしは朝鮮半島経由で伝えられた

漢籍（漢語で書かれた書物）は、国家を支える政治や法、

さらには思想や文化体系を伝える最先端のものとして重要視された。

中国の文化全般を学ぶことを目的とした

これらの学問――漢学――は、国家の制度のなかにも位置付けられ、

それを担う家では、書写・刊行された諸種の漢籍を入手し、

独自の学問を形成していくた。

書物に残された注釈の書き入れ、来歴を伝える識語、

古記録や説話に残された漢学者の逸話など、

漢籍の読書の高まりをいまに伝える諸資料から

古代・中世における日本人の読書の歴史を明らかにする。

本書ではじめてフルカラー公開する資料

『清涼山伝』○『文選集注』卷七断簡○『文選集注』卷百十一断簡

金澤文庫本『文選集注』卷六十残簡○『論語』清原業賢書写・加点本

慶應義塾図書館蔵『論語』天文版清原枝賀加点本

『佐保類切』『施氏七書講義』断簡○『佐保類切』『施氏七書講義』残簡
『道德経切』『老子道徳経』断簡

著者プロフィール

佐藤道生（さとう・みちお）

一九五五年生まれ。慶應義塾大学名譽教授。専門は古代・中世日本漢学。主な著書に『平安後期

日本漢文学の研究』（笠間書院）、二〇〇三年）、『三河鳳来寺旧藏暦応二年書写和漢朗詠集影印

と研究』（勉誠出版）、二〇一四年）、『句題詩論考――王朝漢詩とは何ぞや』（勉誠出版）、二〇一六年）、

『玉葉』に見られる課試制度関連記事の検討』（『変革期の社会と九条兼実』――『玉葉』をひらく

勉誠出版、二〇一八年）などがある。

目次

カラード絵

◎本篇 第一章 古代・中世日本人の読書

第二章 日本に現存する漢籍古写本――唐鈔本はなぜ読み継がれたのか

第三章 古代・中世漢文訓読史

第四章 平安貴族の読書

第五章 藤原道長の漢籍蒐集

第六章 藤原兼実の読書生活――『素書』と『和漢朗詠集』

第七章 養和元年の意見封事――藤原兼実可依変異被行攘災事」を読む

第八章 『論語疏』中国六世紀写本の出現

第九章 平安時代に於ける『文選集注』の受容

第十章 金澤文庫本『春秋經伝集解』奥書の再検討

第十一章 室町後期に於ける『論語』伝授の様相

第十二章 天文版『論語』の果たした役割

第十三章 清原家の学問と漢籍――『論語』を例として訓点と注釈書との関係を考える

第十四章 吉田家旧蔵の兵書――慶應義塾図書館蔵『七書直解』等の紹介を兼ねて

第十五章 伝授と筆耕――吳三郎入道の事績

第十六章 「古文孝經」永仁五年写本の問題点

第十七章 猿投神社の漢籍古写本――『史記』『春秋經伝集解』の書写者を探る

第十八章 『朝野群載』卷十三の問題点

第十九章 日本漢史上の句題詩

第二十章 平安時代の詩宴に果たした謝靈運の役割

第二十一章 藤原有国伝の再検討

第二十二章 大江匡房と藤原基俊

第二十三章 大江匡房の著作と『新撰朗詠集』

第二十四章 平安後期の文章得業生に関する覚書

第二十五章 『本朝麗藻』所収の积算詩――句題詩の変型として

第二十六章 『本朝麗藻』所収の积算詩――句題詩の変型として

第二十七章 藤原有国伝の再検討

第二十八章 『朝野群載』卷十三の問題点

第二十九章 日本漢史上の句題詩

第三十章 平安時代の詩宴に果たした謝靈運の役割

第三十一章 藤原有国伝の再検討

第三十二章 大江匡房と藤原基俊

第三十三章 大江匡房の著作と『新撰朗詠集』

貴重資料の
図版収録点数
総50超!

定価 13,200円(本体 12,000円)

A5判・上製カバー装・

504頁+カラード絵16頁

ISBN978-4-585-39033-6 C3091

2023年9月刊行

書名	部数
日本人の読書 古代・中世の学問を探る 佐藤道生 [著]	定価 13,200円(本体 12,000円) A5判・上製カバー装・ 504頁+カラード絵16頁 ISBN978-4-585-39033-6 C3091 2023年9月刊行

ご送付先ご住所・氏名(通信欄)

紫式部の活躍した時代の男性の文学（漢詩文）を読む。

平安時代の寛弘年間（一〇〇四～一〇一二）、

紫式部や清少納言の時代に編纂された、宮廷官僚詩人の漢詩文集『本朝麗藻』の注釈書。

『本朝麗藻簡注』（勉誠社、一九九三年）を全面的に改訂し、作品の内実に迫ることができるよう、

漢詩文の構成や平仄、漢語の「語性」に注意を払って解説した。

本朝麗藻詳注

柳澤良一 著

（やなぎさわ・りょういち）

金沢大学大学院修士課程修了。金沢学院大学名誉教授。主な著書に『本朝麗藻総索引』（勉誠社、一九九三年）、『続撰和漢朗詠集とその研究』（和泉書院、二〇〇一年）、『石川県立図書館蔵川口文庫善本影叢書』全三巻（勉誠出版、二〇〇八年）、「二〇一〇年」、「新撰朗詠集全注釈」全四巻（新典社、二〇一一年）、「和漢朗詠集新撰朗詠集」（佐藤道生と共に著、明治書院、二〇二一年）、『菅家後集の研究』（汲古書院、二〇二二年）など。

二〇二三年
十月刊行

定価 30,800円(税込)

[本体28,000円]

B5判並製カバー装・928頁

ISBN978-4-585-39030-5 C3091

約80%縮小

本文

上巻は尊経閣文庫蔵金沢文庫旧蔵本、下巻は尊経閣文庫蔵建暦二年清寛加点の奥書きをもつ江戸初期の写本を底本とした。底本の明らかな誤りや欠佚、判読不能の箇所はその他諸本によって補った。

利便性を考慮し、通し番号のほか、返り点・句讀点を付した。

原文の理解に役立つ「通解」を掲載。作品には、比喩や見立てなどの表現を使って詩のイメージをぶくらませているものが多いが、多數見られるので、詩のイメージを損ねないように言葉を補った。

通解

本朝麗藻

(ほんちょう・れいそう)漢詩文集。高階積善撰。全一五四首の詩を収録。春・夏・秋および雜題で構成される。約三〇年間という短い期間の作品を集め、漢文学繁栄の様子を伝える。天皇・親王主催の詩会を收める一方、山荘や寺院における詩もおおく収録する。

訓読

本朝麗藻諸本との校異を示す。底本の本文と異なる場合はすべて掲出した。

校異

春はる	【校異】
底ナシ。群・新・全・紀によつて補う。	
◇春ー私にかりに補う。◇応口製ー群活・全・應製。◇儀同三司ー群・新・儀同三司の右旁「伊周」。全・儀同三司「伊周」。紀「藤原伊周」。	
◇後一紀「裡」。◇震ー紀「震」。	
とを賦し、製に応へまつる。「春」を以て韻と為す。儀同三司	
三月三日、宴に侍りて同しく「柳に間はつて紅桃発く」といふことを賦し、製に応へまつる。「春」を以て韻と為す。儀同三司	
三月三日、宴に侍りて同しく「柳に間はつて紅桃発く」といふことを賦し、製に応へまつる。「春」を以て韻と為す。儀同三司	
和暖の辰	
紅桃柳に間はつて粧ひを発くこと新たなり	
煙濃やかにして纏かに透きたり	
黛動半藏曲水春	
碧玉簾中裁錦妓	
青羅帳後挙燈人	
震遊如舊群臣醉	
醉意詠歌魏代塵	

訓読

底本の訓読をできただけ尊重したが、最新の研究成果を参考して改めた箇所もある。

校異

1	春
三月三日、侍宴同賦	三間柳発紅桃、応製。 〔以春〕
三日花朝和暖辰	製。〔以春〕
紅桃間柳發粧新	儀同三司
烟濃纏透綏山月	
黛動半藏曲水春	
碧玉簾中裁錦妓	
青羅帳後挙燈人	
震遊如舊群臣醉	
醉意詠歌魏代塵	

通解

春はる	【通解】
三月三日、上巳の節句	青羅の帳の後、燈を挙ぐる人あり
曲水の宴に伺候し、皆で「柳に間はつて紅桃発く」(青柳に交じわつて紅色の桃花が咲く)の詩題で詩を作り、勅命にお応えして詠進する。「春」字を韻字とする。	儀同三司(藤原伊周)
夕暮れになつて、春の説が濃くたちこめる頃、そのとたんに桃で有名な綏山から月が出てきて、柳の間にから透けて見える。	
桃の紅色の花は、青柳に交じわつて咲き、今、新たに化粧をしたばかりのようである。	

夕暮れになつて、春の説が濃くたちこめる頃、そのとたんに桃で有名な綏山から月が出てきて、柳の間にから透けて見える。

桃の紅色の花は、青柳に交じわつて咲き、今、新たに化粧をしたばかりのようである。

辺りの情景は、あたかも碧玉の御簾の内にあでやかな錦の晴着を仕立てて着ている舞姫が、かすかに見えるかのようであり、また、青色の薄紺の帳の後ろで、燈火を持つ人が、ほのかに見えるかのようである。

このすばらしい宴は旧に復したかのごとく華やかで、我々群臣はみな快く桃花の酒に酔つてゐる。

この酔い心地、この詩歌を詠む宴は、魏の時代の曲水の宴をそのまま受け継いでいるのではないかと思われる。

ご注文冊数

冊

貴店番線印

ご担当者様

注文書

本朝麗藻詳注

柳澤良一=著

ご送付先ご住所(通信欄)

定価30,800円(税込)
[本体28,000円]
2023年10月刊行予定
B5判並製カバーア・928頁
ISBN978-4-585-39030-5 C3091

重要文化財

東福寺

五百羅漢図

ごひやく
らかんずく

修理と研究

石川登志雄

〔編〕

「画聖」と称された
室町期を代表する
絵仏師・明兆の
超大作「五百羅漢図」。



もくじ

刊行にあたって 大本山東福寺 管長……原田融道
修理後写真／東福寺本・根津美術館本
第五〇号写真／エルミタージュ美術館本
修理工程写真／東福寺本・根津美術館本
五百羅漢図下絵写真／東福寺
第五〇号復元模写写真

各論編

保存修理事業の概要

明兆筆五百羅漢図序論……綿田 稔
五百羅漢図軸木銘文による諸問題……石川登志雄

明兆筆五百羅漢図をめぐる諸問題……高橋真作
東福寺の再興と明兆……森道彦

五百羅漢図の復元模写……日種真子
五百羅漢図修理工の特殊性——画期的な合同修理事業を振り返る……岡岩太郎

コラム編

1修理前調査にみる現状と修理の要点……竹上幸宏
2本紙表面からの補綴方法の模索……伊加田剛史

3解体修理における肌裏紙の除去と永徳一年銘文の発見……小島知英
4新肌裏紙の色調整について……佐味義之
5五百羅漢図の復元模写……富澤千砂子

資料編

五百羅漢図軸木銘文集
五百羅漢図修理関係年表

編集後記

石川登志雄

定価 1,144円(税込)

本体1,111円(税込)

11月刊行

B4判変型上製カバー装・117×61頁
ISBN978-4-585-37010-9 C3071

日本文化史・美術史・仏教史・文化財学を
はじめ諸分野に益する瞠目すべき一書！

書名

重要文化財東福寺五百羅漢図
——修理と研究
石川登志雄=編

定価 24,200円(税込)

本体22,000円(+税)

2023年10月刊行

B4判変型上製カバー装・276頁

ISBN978-4-585-37010-9 C3071

冊数

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社
(勉誠出版)

※上記注文書にご記入の上、近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 https://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

近世日本のキリスト教と異文化交流

大橋幸泰 [編]

【目次】

〈序文〉近世日本のキリスト教と異文化交流・大橋幸泰

第一部 ● キリスト教と時計伝来・平岡隆二

キリスト教と時計伝来・平岡隆二
信徒国字文書のキリスト教用語

——「ぱすとる」(羊飼い)を起点として・岸本恵美
日本のキリスト教迫害下における「偽装」理論の神学的源泉・折井善果

〈史料紹介〉「キリスト教と時計伝来」関連史料・平岡隆二

第二部 ● 日本を取り巻くキリスト教世界

布教保護権から布教聖省へ
——バチカンの日本司教増置計画をめぐって・木崎孝嘉

ラーンサーイ王国に至る布教の道
——イエズス会日本管区による東南アジア事業の一暮・阿久根晋

パリ外国宣教会によるキリスト教「発見」の予見
——琉球・朝鮮・ベトナム・中国における日本再宣教への布石・牧野元紀

〈史料紹介〉南欧文書館に眠るセバスティアン・ヴィエイラ関係文書
——所蔵の整理とプロクラドール研究の展望・木崎孝嘉

第三部 ● キリスト教の起点と終点

最初の禁教令——永禄八年正親町天皇の京都追放令をめぐって・清水有子
潜伏キリスト教の明治維新・大橋幸泰

長崎地方におけるカトリック信徒・非カトリック信徒関係の諸相
——『日本習俗に関するロケーニュ師の手記』(一八八〇年頃)

——『日本習俗に関するロケーニュ師の手記』(一八八〇年頃)
を中心に・マルタン・ノゲラ・ラモス



自鳴鐘

とけい

【編者紹介】

大橋幸泰 (おおはし・ゆきひろ)

早稲田大学教育・総合科学学院教授。専門は日本近世史。
主な著書に『潜伏キリスト江戸時代の禁教政策と民衆』(講談社、二〇一四年、講談社学術文庫に
二〇一九年再刊)、論文に『近世日本の民衆史研究——民衆運動・政治思想・身分認識をめぐる議論
から属性論の射程を展望する』(『民衆史研究』二〇一二〇二三年)などがある。

日本史・東洋史・西洋史・科学史・思想史・
言語学の各方面から検討し、
中世末期から近世期の
新たな時代像の構築を目指す。

定価二二、〇八〇円(税込)
本体二、八〇〇円

A5判並製カバー装・二五六頁
二〇二三年七月刊行
ISBN978-4-585-32530-7 C1320



『フィリピン諸島の征服』
第二部 稿本標題紙

書名	部数
近世日本のキリスト教と異文化交流 [アジア遊学284] 大橋幸泰 [編]	定価3,080円(税込)・本体2,800円
	A5判並製カバー装・256頁 2023年7月刊行 ISBN978-4-585-32530-7 C1320
ご送付先ご住所(通信欄)	

日本語史の新視点と現代日本語	小林賢次・小林千草 編	201403	28011	13,000	11,400	
京都国立博物館所蔵 国宝 吉田本 日本書紀	京都国立博物館 編／石塚晴通・羽田聰 解題	201402	22072	100,000	88,000	
京都国立博物館所蔵 国宝 岩崎本 日本書紀	京都国立博物館 編／石塚晴通・赤尾栄慶 解題	201401	22071	35,000	30,800	
国宝 西大寺本 金光明最勝王経	総本山西大寺 編／佐伯俊源・木本雅幸・野尻忠解題	201309	28505	100,000	88,000	
天平宝字六年百済豊虫願経	オックスフォード大学ボードレイアン図書館 所蔵	201301	20014	100,000	88,000	
在庫僅少 キリストン版 日葡辞書 カラー影印版	月本雅幸 解題					
漢字字体史研究	石塚晴通 編	201211	28008	8,000	7,000	
漢文訓読と近代日本語の形成	齋藤文俊 著	201102	10451	7,500	6,600	
書誌学入門 古典籍を見る・知る・読む	堀川貴司 著	201004	20001	1,800	1,600	
改訂新版 古本節用集六種 研究並びに総合索引	中田祝夫 著	200905	03237	43,000	37,800	
在庫僅少 改訂新版 文明本節用集 研究並びに索引	中田祝夫 著	200605	03152	41,000	36,100	
在庫僅少 改訂新版 書言字考節用集 研究並びに索引	中田祝夫・小林祥次郎 著	200605	03153	30,000	26,400	
在庫僅少 図書寮本 類聚名義抄	築島裕 解説／橋本不美男・宮澤俊雅・酒井憲二 索引	200505	03139	20,000	17,600	
在庫僅少 仮名遣及仮名字体沿革史料	大矢透 著／中田祝夫・峰岸明 解説索引	200505	03138	18,000	15,800	
オンデマンド版						
日韓漢文訓読研究（オンデマンド版）	藤本幸夫 編	202211	88015	10,000	8,800	
統「訓説」論（オンデマンド版）	中村春作・市來津由彦・田尻祐一郎・前田勉 編	202211	88001	6,000	5,300	
「訓説」論（オンデマンド版）	中村春作・市來津由彦・田尻祐一郎・前田勉 共編	202211	83184	4,800	4,200	
近代日本語の形成と歐文直訳的表現（オンデマンド版）	八木下孝雄 著	202208	88040	6,500	5,700	
増補改訂 古代日本人と外国语（オンデマンド版）	湯沢賀幸 著	202207	84074	2,800	2,500	
近代日本語教科書語彙索引（オンデマンド版）	伊藤孝行 編	202207	88002	8,000	7,000	
アジア遊学						
東アジアの「孝」の文化史	雛雪艶・黒田彰 編	202310	32534	3,200	2,800	
書物の時代の宗教	岸本覚・曾根原理 編	202309	32533	2,800	2,500	
渾沌と革新の明治文化	井上泰至 編	202308	32531	2,800	2,500	
近代アジアの文学と翻訳	波瀬剛・西眞偉・林信藏・藤原まみ 編	202308	32532	3,000	2,600	
近世日本のキリストンと異文化交流	大橋幸泰 編	202307	32530	2,800	2,500	
列島の中世地下文書	春田直紀 編	202305	32528	3,000	2,600	
神道の近代	伊藤聰・斎藤英喜 編	202303	32527	3,200	2,800	
呉越國 10世紀東アジアに華開いた文化国家	瀧朝子 編	202210	32521	3,200	2,800	
「唐物」とは何か	河添房江・皆川雅樹 編	202210	32520	2,800	2,500	
書物学						
書物学 第24巻 100年くらいい前の本づくり	編集部 編	202308	30723	2,000	1,800	
書物学 第23巻 文化財をつなぐひと・もの・わざ	編集部 編	202304	30724	1,800	1,600	
書物学 第22巻 禅寺の学問	編集部 編	202302	30722	1,800	1,600	
書物学 第21巻 活字	編集部 編	202212	30721	1,800	1,600	
書物学 第20巻 追憶のサムライ	横浜市歴史博物館 編	202210	30720	1,800	1,600	
書物学 第19巻 紙のレンズから見た古典籍	編集部 編	202202	30719	1,800	1,600	
書物学 第18巻 蔵書はめぐる	編集部 編	202007	20718	1,800	1,600	
書物学 第17巻 編集文献学への誘い	編集部 編	201909	20717	1,500	1,300	
書物学 第16巻 特殊文庫をひらく 古典籍がつなぐ過	編集部 編	201907	20716	1,500	1,300	
書物学 第15巻 金属活字と近代	編集部 編	201904	20715	1,500	1,300	
書物学 第14巻 偽作・偽作	編集部 編	201812	20714	1,500	1,300	
書物学 第13巻 学問の家の書物と伝授 清原家の営為	編集部 編	201808	20713	1,500	1,300	
書物学 第12巻 江戸初期の学問と出版	編集部 編	201802	20712	1,500	1,300	
書物学 第11巻 語りかける洋古書	編集部 編	201708	20711	1,500	1,300	
書物学 第10巻 南方熊楠生誕150年	編集部 編	201703	20710	1,500	1,300	
書物学 第9巻 江戸の欲望／江戸という欲望	編集部 編	201610	20709	1,500	1,300	
書物学 第8巻 国宝 称名寺聖教／金沢文庫文書	編集部 編	201608	20708	1,500	1,300	
書物学 第7巻 医書の世界	編集部 編	201603	20707	1,500	1,300	
書物学 第6巻 「書」が語る日本文化	編集部 編	201511	20706	1,500	1,300	
書物学 第5巻 洋古書の愉悦	編集部 編	201507	20705	1,500	1,300	
書物学 第4巻 出版文化と江戸の教養	編集部 編	201502	20704	1,500	1,300	
書物学 第3巻 書物と工口ス	編集部 編	201408	20703	1,500	1,300	
書物学 第2巻 書物古今東西	編集部 編	201405	20702	1,500	1,300	
書物学 第1巻 書物学こと始め	編集部 編	201403	20701	1,500	1,300	

ISBNは先端に978-4-585を付してください。

お申し込みは

Web Site@<https://bensei.jp>

FAX@03-5215-9025

Mail@info@bensei.jp

勉誠社

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町2-18-4

TEL 03-5215-9021